

防災科学技術研究所地震津波火山ネットワークセンター 地震観測施設等コアサンプル 利用申請書		
目的		
利用内容 (研究内容)		
利用試料 (見込み)	場所	
	試料部位 深度 数量等	
利用者 (学生の場合 は指導教官 を併記)	氏名	
	所属	
	連絡先	
備考		
令和 年 月 日		
<p>コアサンプルの利用にあたっては、下記事項を遵守します。</p> <p>(1) 利用コアサンプルを他の目的に転用しないこと。</p> <p>(2) 試験、測定等に利用したコアサンプルで、残った部分は原則的に返却すること。</p> <p>(3) 展示のための一時貸し出し等の場合、終了後速やかに現物を返却し、貸し出し前の状態に復すること。</p> <p>(4) 研究発表等を行う際は防災科学技術研究所担当者と協議すること。</p> <p>(5) 研究発表等を行う際は防災科学技術研究所のコアサンプルを利用した旨明記すること。</p> <p>(6) その他、不明の点は防災科学技術研究所担当者と協議すること。</p>		
<p>注意事項</p> <p>(1) 申請受付後、利用の目的や利用法、分量等、内容が適切であるか判断した上で提供の検討をいたします。申請書を記入する際には、必要があれば、記述内容について参考となる補足資料を添付してください。</p> <p>(2) 提供する負担に鑑み、原則として共同研究とさせて頂きます。展示のための一時貸し出し等、この限りではありません。</p> <p>(3) コアサンプルのサンプリングや運送の日程、試料の取り扱い方などについては、事前にご相談いただき、防災科学技術研究所担当者の指示のもと、細心の注意をはらってください。</p> <p>(4) 送料や消耗品など、コアサンプルの提供に必要となる実費については、原則として、利用者負担となります。</p> <p>(5) コアサンプルの利用期間は原則として1年以内とします。1年を越す場合には、利用申請書と利用計画書を再提出する必要があります。</p> <p>(6) コアサンプル切り出しや運送等の作業は、原則、防災科学技術研究所担当者の立ち会いのもと、利用者が行うことになります。</p>		

防災科学技術研究所地震津波火山ネットワークセンター 地震観測施設等コアサンプル 利用計画書		
目的		
利用計画 (研究計画、 測定方法等 具体的に)		
利用試料	場所	
	試料部位 深度 数量等	
利用者(学生 の場合は指 導教官を併 記)	氏名	
	所属	
	連絡先	
所内担当者 (共同研究者)	氏名	
	所属	
	連絡先	
所内管理責 任者	氏名	
	所属	
	連絡先	
備考		
令和 年 月 日		
<p>コアサンプルの利用にあたっては、下記事項を遵守します。</p> <p>(1) 利用コアサンプルを他の目的に転用しないこと。</p> <p>(2) 試験、測定等に利用したコアサンプルで、残った部分は原則的に返却すること。</p> <p>(3) 展示のための一時貸し出し等の場合、終了後速やかに現物を返却し、貸し出し前の状態に復すること。</p> <p>(4) 研究発表等を行う際は防災科学技術研究所担当者と協議すること。</p> <p>(5) 研究発表等を行う際は防災科学技術研究所のコアサンプルを利用した旨明記すること。</p> <p>(6) その他、不明の点は防災科学技術研究所担当者と協議すること。</p>		
<p>注意事項</p> <p>(1) 申請受付後、利用の目的や利用法、分量等、内容が適切であるか判断した上で提供の検討をいたします。計画書を記入する際には、必要があれば、記述内容について参考となる補足資料を添付してください。</p> <p>(2) 提供する負担に鑑み、原則として共同研究とさせて頂きます。展示のための一時貸し出し等、この限りではありません。</p> <p>(3) コアサンプルのサンプリングや運送の日程、試料の取り扱い方などについては、事前にご相談いただき、防災科学技術研究所担当者の指示のもと、細心の注意をはらってください。</p> <p>(4) 送料や消耗品など、コアサンプルの提供に必要となる実費については、原則として、利用者負担となります。</p> <p>(5) コアサンプルの利用期間は原則として1年以内とします。1年を越す場合には、利用申請書と利用計画書を再提出する必要があります。</p> <p>(6) コアサンプル切り出しや運送等の作業は、原則、防災科学技術研究所担当者の立ち会いのもと、利用者が行うことになります。</p>		